

中期計画



Phase II

< 概要について >

2008年 11月 12日
横浜ゴム株式会社

中期計画



Phase II

GD100「ビジョン」と「基本方針」

■創業100周年にあたる2017年に

企業価値・市場地位において、独自の存在感を持つ
グローバルカンパニーを目指します

■長期財務目標（2017年）

売上高：1兆円

営業利益：
1000億円

営業利益率：
10%

■基本方針

- ・良いモノを、安く、タイムリーに
- ・トップレベルの環境貢献企業になります
- ・高い倫理観を持ち、顧客最優先の企業風土を作り上げます

中期計画



Phase II

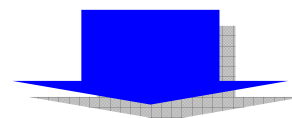
GD100 Phase II 課題とテーマ

- ・ 本日は、現在策定中のPhase II 概要をご紹介致します。
- ・ 財務目標を含むPhase II は2009年3月に公表予定です。

Phase I
(2006-08年度)

旺盛な世界需要 ⇒

「収益を伴った成長」



Phase II
(2009-11年度)

世界的な金融危機

不安定な原材料価格

需要の減速

先の読めない市況

深刻化する環境問題

企業の普遍的な「質」を向上



Phase III 以降(2012年～)の飛躍への備え

Phase II テーマ :

「**高質**な**成長**」

＜経営の**質**

CSR経営

基盤強化

財務の**質**

＜事業の**質**

技術
の**質**

生産
の**質**

営業
の**質**

2017年のGD100最終目標達成に必要な基盤整備として、
グローバル規模で「**質の向上を伴った成長**」のフェーズとします。

中期計画



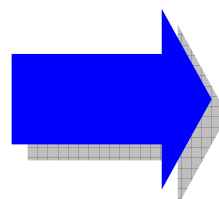
Phase II

GD100 Phase II 概要について

Phase I (2006-08年度)

環境マネジメント

コンプライアンス



Phase II (2009-11年度)

CSR 経営

CSR (Corporate Social Responsibility) を

「企業の社会からの信頼」と定義し、

社会より揺るぎない信頼を得ている企業となります。

コーポレート・ブランド力の強化による

グローバルな市場地位の確立

- ・ 環境貢献技術を核とした魅力ある商品をグローバルに展開してまいります。
- ・ グローバルな新車装着活動などを通じて、認知度向上に努めてまいります。



YOKOHAMA



グローバル市場における事業体制の強化

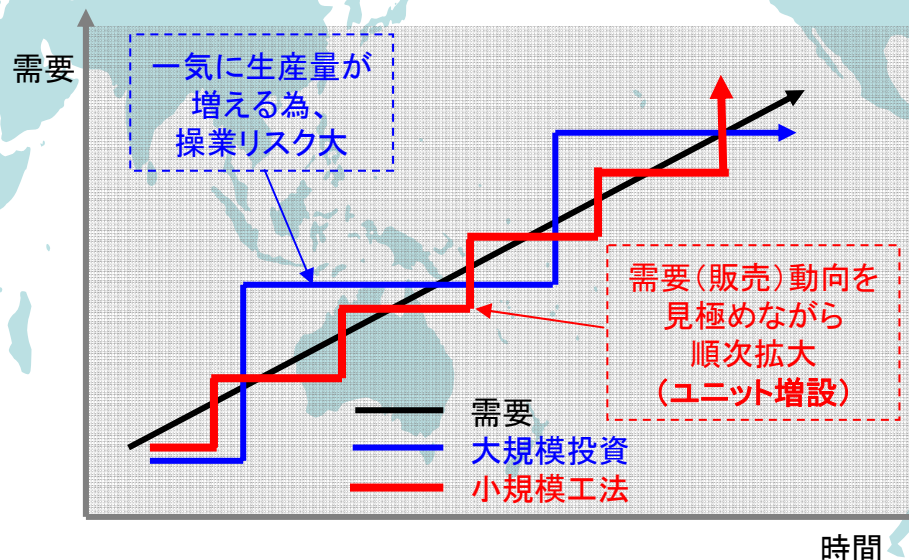
日本 北米 中国 に加え、

欧州 アジア大洋州 中南米 中近東アフリカ 等の諸地域においても

- ・ 地域戦略を主体に取り組み、市場に根付いた経営体制を構築し、市場と共に成長を目指します。
- ・ 各地域のマーケティング・営業力を強化し、市場特性に合った商品を提供してまいります。

独自技術にささえられた「小規模工法」の活用

- ・ 地域需要動向に対応して、弾力的な増産投資が可能になります。
 - ・ B R I C's 地域では、早期現地生産化を目指します。
- ⇒ 上記の組合せによりタイムリーな現地供給体制が可能となります。



成長分野における本格的グローバル展開

- ・ 工業資材事業、ホース配管事業、ハマタイト事業の分野で生産・販売拠点を欧米、中国等にて強化してまいります。

新規事業によるキャッシュの創出

- ・ 電材事業や自動車用構造接着剤などの新規事業開拓に積極的に取り組んでまいります。

環境貢献技術

- ・ トップレベルの環境貢献企業集団を目指してまいります。

地球温暖化抑制

省資源・省エネルギー

資源再生・循環

「お客さまの利益」と「企業の成長」を実現する技術

- ・ 「良いモノを、安く、タイムリーに」を技術思想として追求し、
「モノづくり」を極めてまいります。

差別化技術

安全・快適

柔軟な生産技術

原価低減

ムダ取り活動の新フェーズ

「良いモノを、安く、タイムリーに」を極める

- ・ 抜本的な改善により、総合的なコスト競争力を強化してまいります。

国内事業の構造改革

事業体制の「質」を高める

- ・ 将来の需要構造変化に備えた構造改革を推進してまいります。

GD100 Phase III以降に備えた 全グループの基盤強化

基盤技術の強化

R&Dのグローバル化

地域事業会社モデルの確立

グローバル人材育成

調達機能の強化

「GD100推進室」の設置

中期計画



Phase II

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因によりこれらの結果とは異なることがありますことをご承知おき下さい。